ド級編隊
エグゼロス
HXEROS
きただりょうま
7
JUMP COMICS SQ.

級編隊
H×EROS
きただりょうま
7
JUMP COMICS SQ.

HXEROS Characters

H×EROS EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE	HXEPINK	HXEYELLOW	HXERED
白雪舞姫	桃園百花	星乃雲母	炎城烈人
エグゼホワイト	エグゼピンク	エグゼイエロー	エグゼレッド
ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。	姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。	幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。幼い自分の姿をした幻覚・黒雲母に悩まされている。	幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS——。突然告げられたエグゼロスの解散。しかし、烈人たちは陰ながらヒーローとしての活動を続けていた。サイタマ新知事の作った条例によって叔父が逮捕された事から、烈人たちは擬態したキセイ蟲が知事に成り代わっているのではないかとの疑いを持つ。調査の結果、彼女は女王キセイ蟲である事が判明し、烈人たちに戦闘で追い詰められるが、そこへ黒いH×EROSを着けた謎の少女が現れ…!?

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

叢雨紫子

トーキョー支部隊員。烈人を自分のHフレにしようとアプローチを続けている。

キセイ蟲

人間のエロスの源"Hネルギー"を奪い、絶滅を目論む宇宙人。

若草萌葵

トーキョー支部隊員。百花とは同じ中学校出身。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents
HXEROS

第29話
漆黒のエグゼロス
ふー
こんなもんか
久々に戻って
来たけど やっぱ
汚れてるなぁ
地球
サイ
!
こんなトコに
スイッチなんて
あったんだ…
カチッ
何の
スイッチ
だろ…

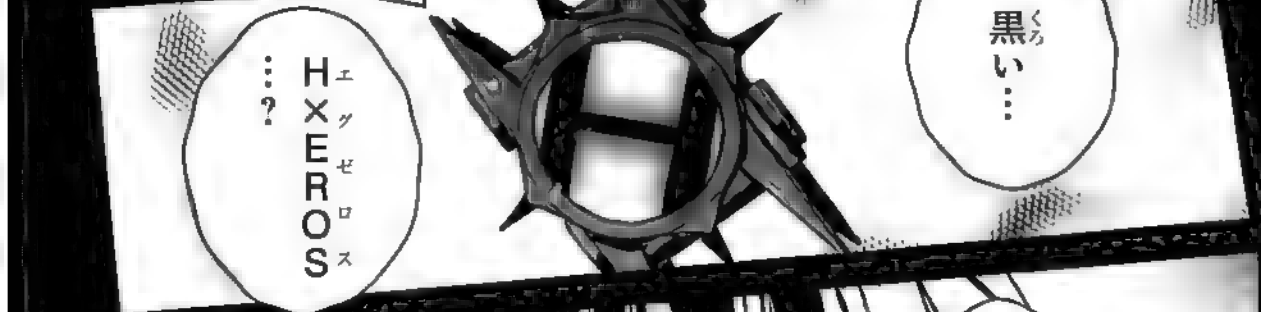
パカッ
!?
そういえばこんなのあったっけ〜!
ゴリ
ゴリ
ゴリ
ゴリ
ぽーん
ズ!!

はっ
……
しーん
よかった…今回は誰も居なくて…
ったくなんで緊急出動で出てくる場所が風呂場なんだか…
すくっ
そういや星乃が来た初日にこの装置は禁止したんだっけ…
エグゼロスも無事復活したことだし
これからは俺もこんなものに頼らなくていい位強くならないと
ガラッ

ぽいんっ
あ

べ…別に強く
なるって
もっとHネルギー
溜めたいとか
そういう意味じゃ
ないからな…？
じゃあ なんで
こんなとこに
居んのよーっ!!!
ぼごぉっ
ああ…また
やっちまった…
もう少しで
こんな生活から
おさらば出来る
所だったのに…
あの日…俺たちが
女王キセイ蟲を
追い詰めた あの時
ー
全てが終わる
はずだったのに

数日前――
な…
なんでこんな山奥に…
メイドが

いや驚く所そこじゃなくて…
あれ…!
!
黒い…
H×EROS…?
あなた一体…

くるっ
なんで縮んでるんですか
少し力を使いすぎてね…
ちょ…ちょっと君…！そいつに近づいたら危険だ！
危険…？

こんな所で全裸な人の方が危険なのでは？
ギクッ
い…一体どうなってるのよ…!?
では私たちはこれで
待ちなさい…！
わからない…けどもしかしたらお前と同じであの娘も操られてるのかも…
悪いけどそいつを連れて行かせる訳にはいかないわ

……ならば……
Hネルギーずくで止めてみて下さい
ビリ
ビリ
何このHネルギー……
すごく禍々しい……

!?
きゃっ
どてっ
星乃っ！

ドクンッ
!?
どぷっ
!
この娘…もしかして…

戦いながら感じてるのか…?
だ…大丈夫炎城…!?
ハッ

ごめんなさい
でも今の私はこうするしかないの
駄目…Hネルギーの使いすぎで力が…
待っ…！
ガクッ
ドサッ

いやー
よかったよかった
一時はどうなることかと思ったけど
なんとか釈放してもらったよ
ジャしぃッ
さ今日はエグゼロス復活を祝してパーッといこうじゃないか
じゃんっ
おお〜っ!!
にしても黒いH×EROSねぇ…
トーキョー支部の一つが盗難にあったとは聞いていたけど
まさかキセイ蟲の手に渡っていたなんて…

ねぇねぇ その持ち主って どんな子だった？
ん？ なんだ やけに食いつくな 天空寺…
だってそういう子を 味方にするのも ヒーローの役目だし
言われて みれば…
そういう もん…？
でもまさか 星乃さんと炎城さんの 二人掛かりでも やられるなんて…
そのメイドさん 只者じゃない ですね…
せやけどチャチャの 力も借りずにスーツが 破ける程のHネルギー なんて一体何が あったんやろなぁ？
それはボクも 気になるのだ

そう言えば
あれ以降…
恥ずかしくて
星乃と上手く話せて
ないんだよな…
ごっごちそう
さま…！
なんや
逃げるんかー
雲母ー
ガタッ
結局また
自分の気持ちを
伝えるチャンスも
失っちゃったし…
星乃は
どう思ってるん
だろ…？
で結局
ヤッちゃった
んか？
何を!?
うんうん
若いって
いいねえ
クッ
だから
違ーって!!

はあ〜……
どうしたの雲母？
そんな抜けた顔するなんて珍しい
ん━…バイト先でちょっとあってね…
しいて言うなら酷いクレーマーの来るバイト先が閉店しそうでラッキーかと思ったら実は新装開店でさらに厄介なクレーマーが増えたって感じ
それって例えなの…？
逆に陽香は上機嫌みたいね
そっ…そう…？
校則ギリギリのアクセサリー
薄い色つきリップ
ほのかに香るフェアリーローズ

実はね雲母…
ゴゴゴ
ええ〜っ!伊達と付き合うことにした!?
声が大っきい…
そうは言ったけど…まず何からしていいかわかんないし…
付き合ってるなんて言えたものか…
そりゃあ最初は簡単なことでいいのよ
一緒に帰ったり手を繋いだり買い物行ったり
そっか…私も付き合うことになったら炎城と…

って そんなのもう やり尽くしてる じゃない…！
ね…ねぇ夕奈… ちなみにそれが 普通になって来たら 次はどんなこと すればいいと思う…？
えっ どうしたの 急に
わっ私も 知りたいかも…
うーん… ちょっと二人には 刺激が強いかも しれないけど…
ひそ ひそ
カァアッ

そっ　そんなことまでしちゃうの!?
まー 相手の興味によるかもしれないけど
おーい そろそろ授業始まるぞー
!?
ガラッ
はいはーい 皆さん修学旅行の班決めは終わりましたかー?
変態!!
何がッ!?

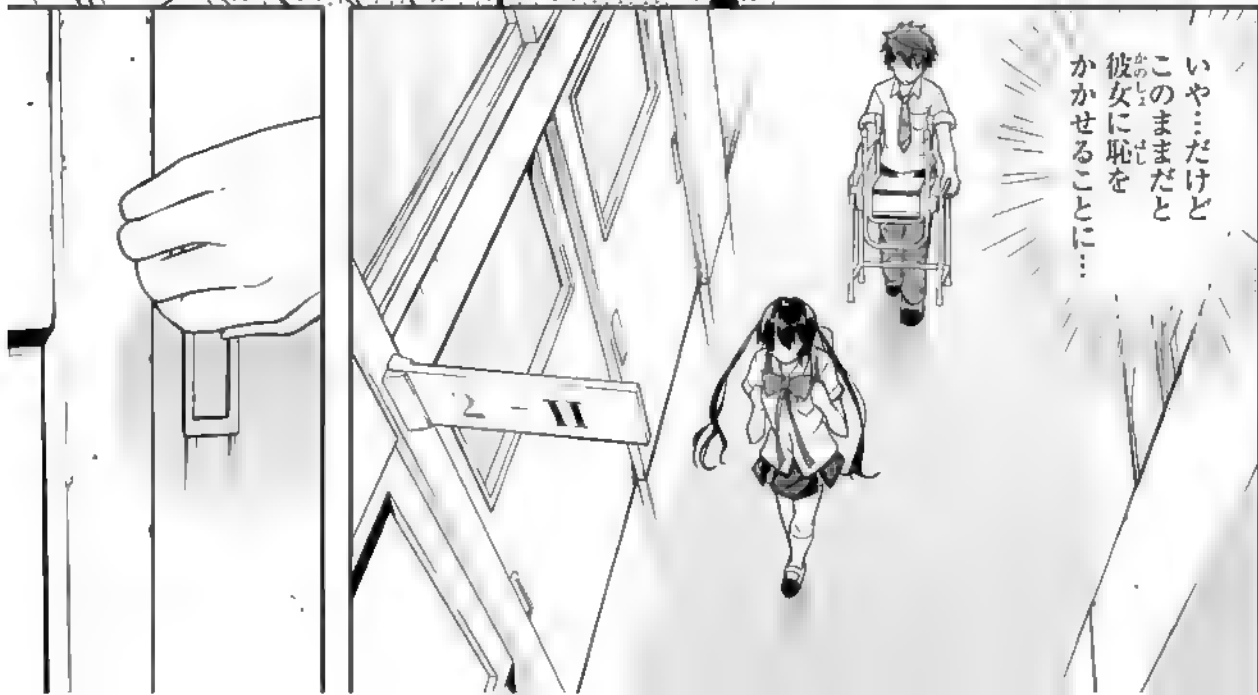
ここでなんと
うちのクラスに
新しいお友達が来る
ことになりましたー
どうぞー
入ってきて
くださーい
!
宵月曙
です

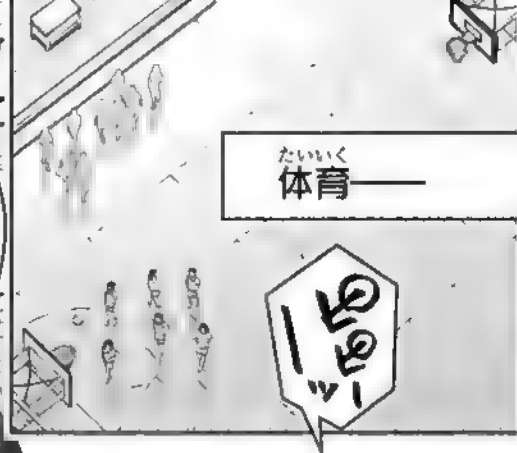
炎城…あの子って…
ポチポチ
まぁ…確かに似てるけど…
決めつけるのにはまだ早いだろ…
それじゃあ宵月さん
最後に一言お願いします
……私宵月曙は
この世のエチい物は全て
滅びればいいと思ってます

私の前でそういう発言・行動した人は人とは思わずに接するのでそのつもりで
ゴクッ
はーい 以上宵月さんでしたー皆仲良くねー
ええっと席は空き教室にあるのを使ってもらうから…
…わかりました
じゃあ そこの熱い視線送ってる炎城くん
一緒に持ってきてあげて
俺!?
っていうかさっきの自己紹介…あながち人違いじゃないのかも…

………
少しカマかけてみるか…
ガタッ
なぁ宵月さん前にどこかで会ったことないか？
…？覚えてないですけど…
それじゃあメイド喫茶か何かでバイトしたりは…
は？
ギロ
スイマセン何でもないです…

あれ…どっちなんだこの反応…演技には見えなかったし…
あ俺が運ぶよ
…どうも
それともやっぱりただの人違い…？
！

こ…これは…!?
い…ふうべきなのか…?
でもさっきの自己紹介を聞く限り見たってバレたら何をされるか…
いや…だけどこのままだと彼女に恥をかかせることに…
2-11

まった宵月さん
!
…パ……パン…
…パン屑が髪に付いてるから鏡見て来た方がいいぞ…
え…どこ…？
あーそこじゃなくて…
ダメだ余計に食い込んじゃってる…！
はぁ…わかったもう自分で取って来るから
くるっ
ほっ

なんだ…何にも付いてないじゃん
あ
ペラ…
ふ…ふぐぅっ…
また・やっちゃった〜〜〜！

体育——
ピピーーッ
それじゃあビブスチームは交代ー
今休憩してたチームにビブス渡してあげてー
お疲れ様宵月さん
はぁっ
はぁっ
ありがとう
ぬぎっ
ちょっ宵月さん…!?
?
!!

男子全員あっち向いてなさいっ！
ざわっ
不遇っ
ふぐぅっ
そう…実はこの少女宵月曙は
"不幸中の最猥"体質なのだ
情報──
パソコン室
ぽーっ
今時パソコンの使い方くらい皆知ってるよねぇ
カチカチッ
メール
差出人
件名

現代文——

浮雲
二葉亭四迷

それじゃあ次の所を

宵月

それも厭なりこれも厭なりで

二時間ばかりと云うものは黙坐して腕を拱んで……

ち…ち…

叔母の意見に負かなければ
見に負くまいとすれば昇に
ばならぬ。それも厭なりこ
、二時間ばかりと云うものは黙
して腕を拱んで、沈吟して嘆息して、千思万
、審念熟慮して屈托して見たが、詮ずる所は
の木阿弥。
ハテどうしたものだろう

ちん
ちん…
ぎん
ぎん

ざわっ
?

はっ
現代文B
ふぐう〜〜っ!!
バターン
っっっ宵月(よいつき)さん!?

すってーん
ぴやっ
ぐすっ
大丈夫？曜ちゃん
うん…ありがと
見ろよ宵月がまたやってるぞ
あー俺見逃しちったー
つーかよく毎回同じ格好で転べるよな
実はわざとなんじゃねーの？
コラ男子ーっ適当なこと言うなー!!
やっべ逃げろ…！

違うもん…
ん…
あ起きた？
宵月さん
あなたは確か
クラスメイトの…
星乃雲母
よろしくね
ここは…？
保健室よ
びっくり
しちゃった
いきなり倒れ
ちゃうんだもん

その…ごめんなさい…
いいのよ昔私も似たような所あったから
?
私も以前は…エッ…チな物に対して過剰に反応してたこともあったから
宵月さんの気持ちもよくわかるわ
…以前はってことは今は…?
もっ…もちろん今だって大の苦手よ!? ただ——
相手にもよるかなって
ドキッ

それじゃあ…
私には似てる
とは言えない
ですね…

！

男子なんて
皆同じじゃ
ないですか…

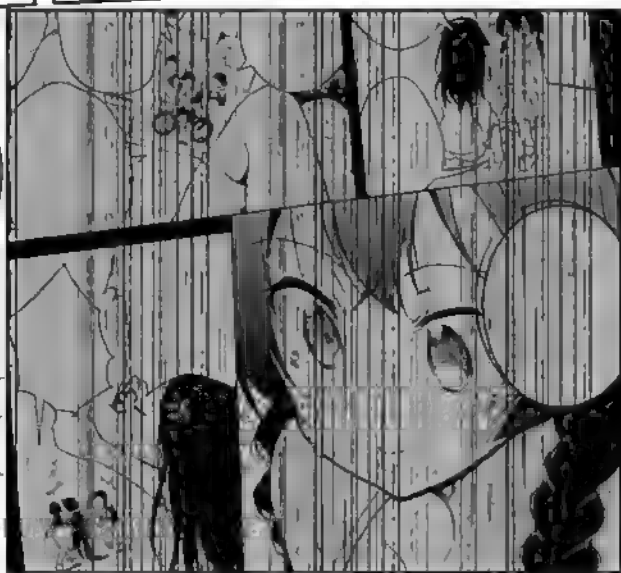
こんなこと言うのは
恥ずかしいんだけど…
だからもしそう思わない
人が出来たら…

それが
恋なんじゃ
ない…？

ガラッ
失礼します
はっ 話は変わるけど 宵月さん 最近何か変わったことない!?
例えば夜な夜な宇宙人に攫われたとか…
は? 別にないですけど
起きたみたいでよかった はいこれ飲み物
……どうも…
あ そうそう 私達 宵月さんに聞きたいことがあったんだ

修学旅行の班決めなんだけど…星乃ともなんだか打ち解けてたみたいだしさ
よかったら宵月さん うちの班に来ないかと思ってさ
……考えておきます…
じゃあ私はこれで
飲み物ありがとうございました

ゆるっ…
すと
!?
ビクンッ
ガシッ
わっ…!

ドキッ

ごごごごめんなさいっ
またやっちゃった…！
ゴメン宵月さん…！
ぼっ
俺ってばホント転び方下手でさ…怪我はない？
え…？あ…はい…
良かった…
保健室で怪我したなんて言ったら笑われるもんな

初めてだな…
きゅっ
こういう時真っ先に身体を心配してくれる男子に会ったのは…

………

あ…危なかった…！

星乃の手前気にしてないフリしとかないと後で何を言われるか…
じとー…

………
あの…さっきの言葉…訂正してもいいですか…？
ん？

星乃さん…不本意ですが確かにあなたの言う通り
私ってことは
私…君の班にお邪魔したくなりました

嫌じゃない相手も居るみたいです…
恋してしまったんでしょうか?

Extra Gallery

番外ギャラリー

私…
恋してしまったんでしょうか…？
第30話 不幸中の最猥
……いや……

宵月さん…俺たち
まだ知り合った
ばかりだし
!
そういうのは
もっとお互いの
ことを知ってから
なんじゃないかな?
……
それもそう
ですね…
では不束者
ですが よろしく
お願いします…
ペコッ
…?
お…おう…

それじゃあ
また後で
……
ガラッ
ちょっと…!!
どういうつもりなのよ炎城…!?
何が…!?
だから今の…
お互いのことをもっとよく知ってからみたいな奴!
がしっ
そりゃあ…
まずあの子の正体を確かめないと…
だけど言い方ってもんがあるでしょ…
あんなの告白に対してまんざらでもない時の返事じゃない…!

悪かった！
俺…そんなつもりは全然なかったから
ドキ
ま…まぁそう言うなら…
キーンコーンカーンコーン
放課後――
え〜っ宵月さんってケータイ持ってないの!?
うん

もっと別のことにお金使いたくて
じゃあ遊びに誘う時はどうすればいいの?
おうちに電話とか?

それじゃあ炎城烈人くん
一緒に帰りましょう
えっ!? そんな約束してたっけ…?
だってさっきお互いのことをもっと知ろうって…
言ったけどそういう意味では…
あ…すいません…こういうの初めてで嫌とは知らず誘ってしまって…
しゅんっ

いや…別に嫌って訳では…
！
ホントですか…？
そっそうだ宵月さん
ちょうど私もこの街紹介しようと思ってた所だし付いて行っていいかな？
！星乃…
あ…ありがとうございます…
それじゃあ行きましょ
おい一体何したんだよ炎城…!?
転校初日に女子の方から下校誘われるなんて…！
し…知らねーよ…！

星乃さんって炎城くんと仲がいいんですね
実を言うとね…私達 幼馴染なのよ
付き合ってる人とかは居るんですか？
さっ さあね？
少なくとも私は知らないかなぁー？
ま 興味ないけど
いや 炎城くんじゃなくて星乃さんの話なんですけど
あっ…あぁ！

私は…居ないわよ
それじゃあ…片思いなんですね
ど…どうしてそう思うのかしら…？
だってさっきのあの台詞…あなたも恋してるのかと
相手にもよるかなって
しまったあああああぁ
どうかしました？

おまたせ
さっ早く行きましょ
あっちょっと…!
行くってどこに…?
そうだ宵月さん水着って持ってる?
中学のスクール水着なら一応…
ちょうどいいし新しいの買っといた方がいいかもしれないわよ

何たって修学旅行は沖縄なんだから

！
炎城～～～っ
ぎゅっ
!!!

叢雨!?

聞いたぜ サイタマ支部が解散しそうになったって…

大丈夫か？ おっぱい揉む？

すっ

馴れ馴れしいみたいですけど

アナタ 炎城くんの何なんですか？

オレ？オレは炎城のHフレ…
たっ他校のバイトの知り合いだよ…！
私…あなたみたいなタイプは苦手です
あははっよく言われるよ
悪いけど叢雨
俺らちょっとこれから買い物に行くんだけど…
！
それならオレも付いて行こっかなー
えー
いいだろ？わざわざトーキョーから来たんだから
はー…仕方ないわね…

SUMMER SAL
へー水着かー
そういやオレも
ちょうど買おうと
思ってたんだよな
別に無理して
付き合わなく
てもいいのに…
けどさ…
わ…私も今日
買って帰ろう
かな…?
一緒に水着駄目に
するとか どんな
状況ですか…?
お前だって
この前駄目にした
ばっかだろ?
21話参照
あ…

そういや 俺も水着 買わないと…
がしっ
ちょっと 待て炎城…
水着… 選ぶの手伝って くんねーか…？
いやいや… そんなの自分の 好きなの買えば いいだろ…？
あのな… Hフレってのは こういうこともする もんなんだよ
それはお前が 勝手に言ってる だけだっつーの…！
いいよ… それじゃあ着替えたら 歩いてお前ん所に 見せに来るから
わ…わかった から それは やめろ…！
あの叢雨って人… いつもああ なんですか…？
はー…
まあね…

叢雨さん…
まさか水着を
炎城に選んで
もらうなんて…
どうせこんな感じの
ツッコミ待ちみたいな
水着に決まってる…
けど…なんで
こんなに不安
なんだろ…
スッ
私も負けて
いられない
でしょ…？
そう思ってさっき
私が無意識を
使って水着選んで
あげといたから

さ…流石にコレは無いでしょ…！
いやいやー あの叢雨紫子に勝つなら これくらい着ないと
試着出来たぞ炎城ー
はいはい…
！
向こうはどんな感じかな…？
ひょこっ
ニュッ
どう？

い…いいんじゃないか…？
フフ…驚いてる驚いてる…♪
男子はギャップに弱いってのはやっぱホントみたいだな…
なによ炎城…いつものリアクションと違うじゃない…！
で雲母はどんなの選んだんだ？
いやっ私はまだ…
ほほ〜♪
こ…これは違うのよおおおっ！
お…俺他の所行ってくるわ…

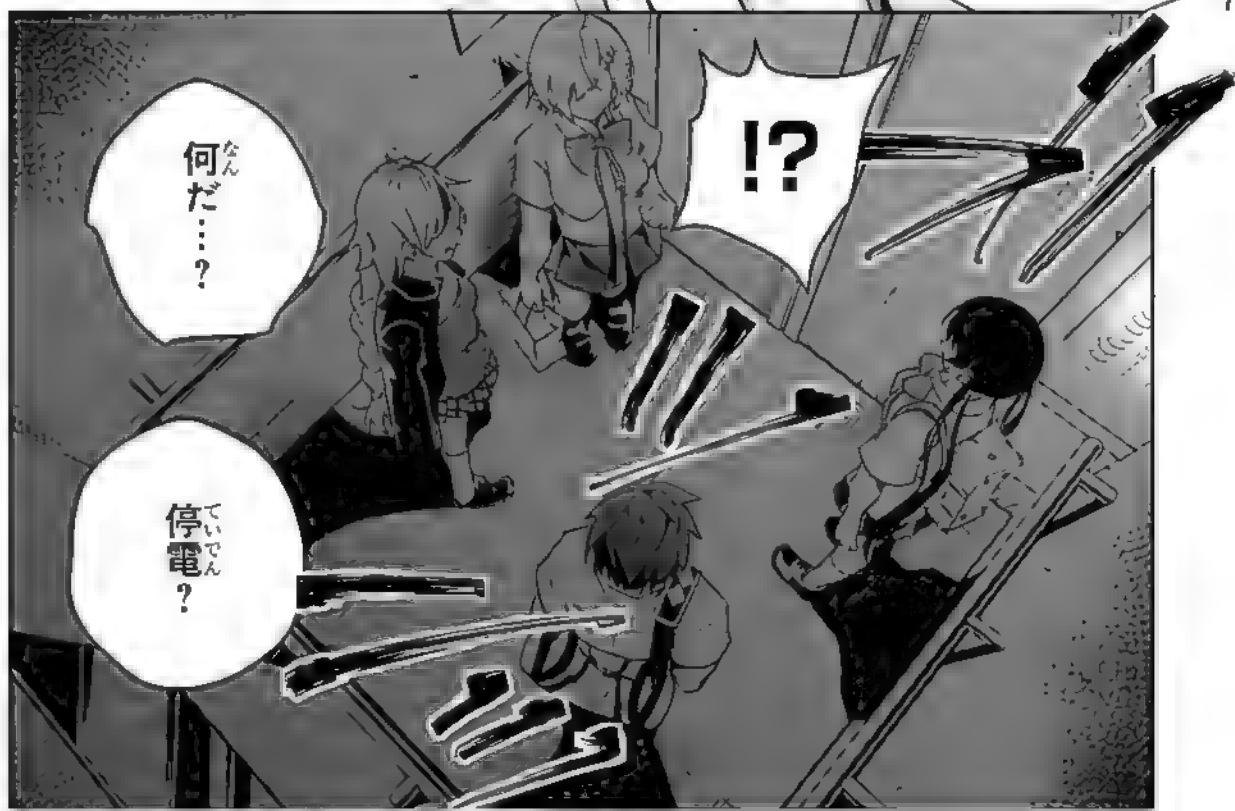
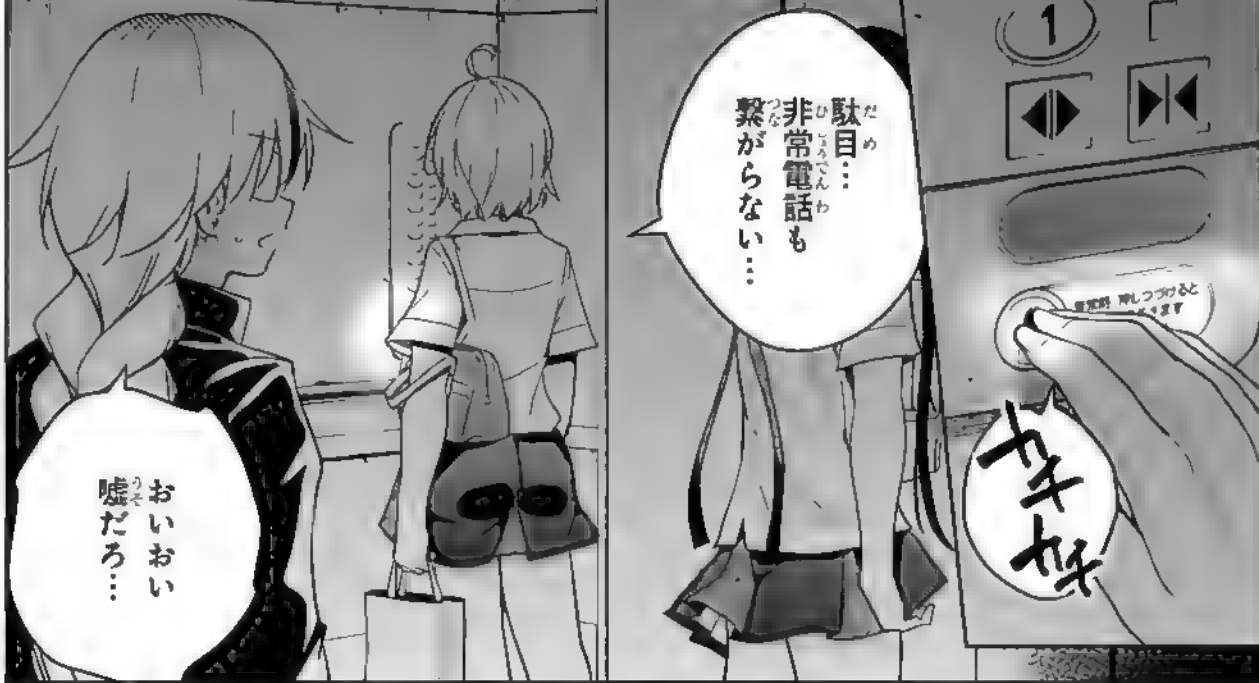
宵月さん
まだ選んでるのか？
はい…けど
どれもしっくり
来ませんね…
こんなの私が
着たら絶対
すぐ脱げるに
決まってる…
!
あれならまだ
ましかな…
私も見て
もらっても
いいですか？
へ…？

どうでしょうか？
い…いいと思うけど宵月さん それ…
？
薄手の奴は普通下にインナーか何か着ないと…

ふぐうっ
また やっちゃった〜〜〜!
宵月さん ほんとに 買わなくて 良かったの？
うん…今 手持ちのお金も なかったし…
いやー 買った買った
なんか悪いな… 結局 買い物に 付き合わせた 形になっちゃって
いいんです… 元は私から 誘ったんですし
!?
何だ…？
停電？

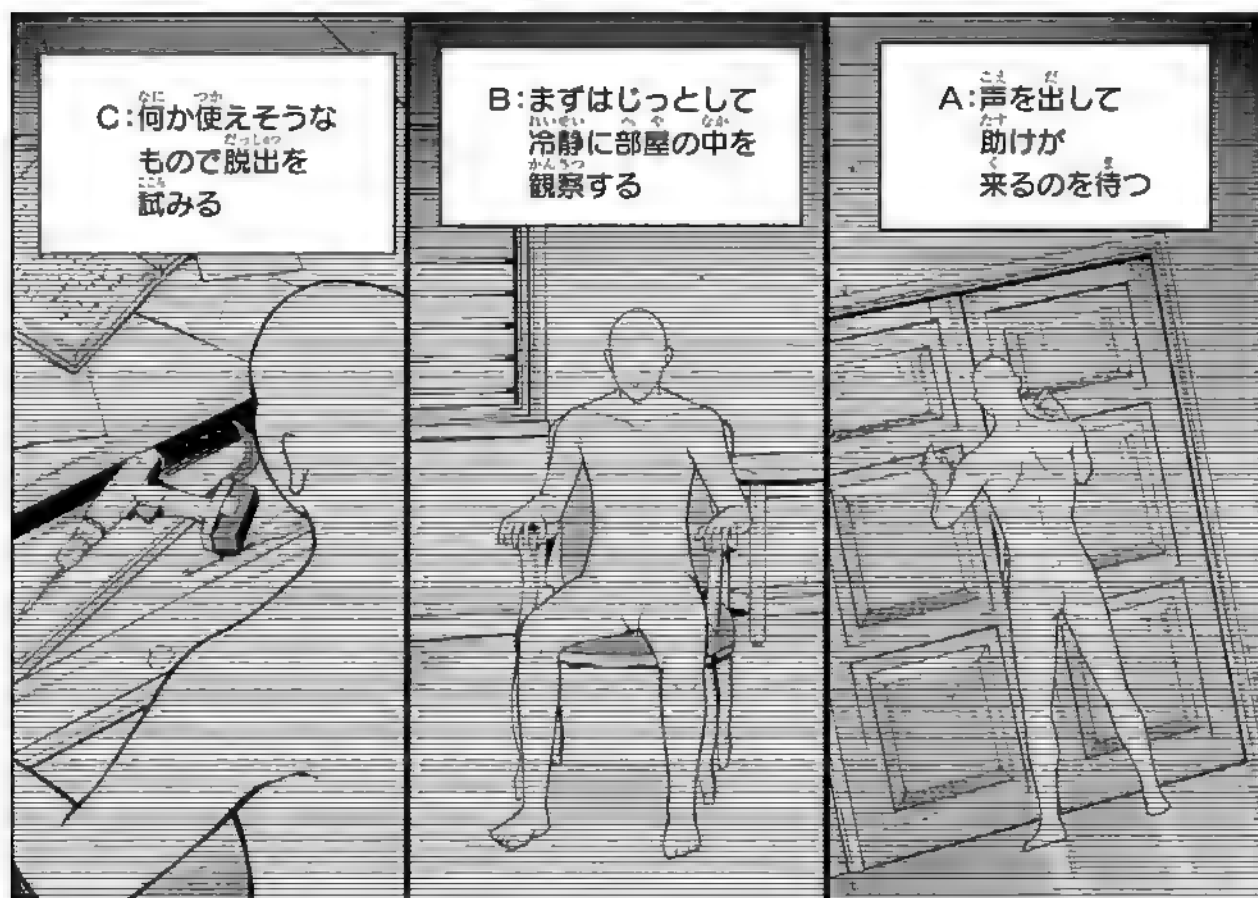
カチカチ
駄目…非常電話も繋がらない…
おいおい嘘だろ…

とりあえずケータイは繋がるみたいだけど…
こういう時ってどこにかけるんだ?
さぁ…?

まぁすぐに復旧するだろ
それもそうね
……

あー暇だ…
今 何分経った?
まだ10分くらい…
くつろぎ過ぎでは…?
ぐだーっ
!
そうだ! 丁度いい心理テストがあるんだけどやんねーか?
んー まぁ普段ならスルーしてるとこだけど
今くらいは聞いてあげるわ

A:声を出して助けが来るのを待つ

B:まずはじっとして冷静に部屋の中を観察する

C:何か使えそうなもので脱出を試みる

…うーん
俺はAかな
まずは
助けを求めて…
それでもダメなら
その後に考えるよ
そんなの監禁
だったら どう
すんのよ…？
私はCね
もし武器になりそうな
物があったら犯人が
入ってきた時に
ぶちのめしてやるわ
自分はB
ですかね…
まずどこに
閉じ込められているか
判断しないと
AもCも選べませんし
なるほど
ねぇー…
ニヤニヤ
でこれは
何の心理テスト
なんだ？
えーっとな…

Aを選んだアナタは正常タイプ
ほっ
落ち着いた雰囲気でする方が快感が高まりそう
？
Cを選んだ大胆なあなたは騎乗タイプ
そんな積極的な振る舞いに二人のムードが盛り上がること間違いなし

Bを選んだ
奥手なあなたは
後背タイプ

逆に恥ずかしい
格好を見られる
ことが興奮に
つながるかも

どうだ？当たってるか？
そんなこと知る訳ないじゃないですかッ!!
やっぱこいつに任すんじゃなかった…！
さっきから身体が熱くて…汗が止まらない…
ドキ
あれ…なんだろ…
ドキ
じわっ…
これってもしかして
空調止まってる…？
確かにそう言われてみれば…
だから さっきから こんなに暑ちーのか…

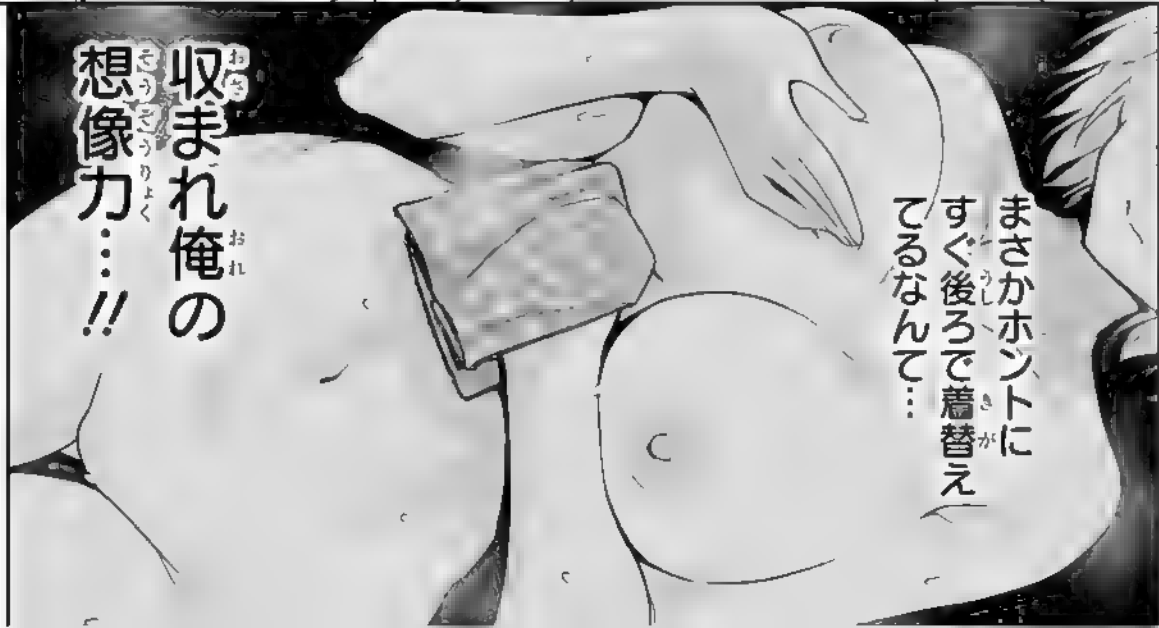
もうダメだ…
我慢できねー
ぬぎぃっ
何してんだよ叢雨!?
何って さっき買った水着に着替えんだよ
このままじゃ服が汗でびしょびしょになっちまうからな
なんだ炎城 そんなに着替えてるとこが見たいのか?
ちげーよ!

きっつい
ホント信じらんない
こんな所で水着に着替えるなんて…
それは自分の姿を見てから言うんだな雲母
!?
じわ…

片や健全な水着姿
片や汗まみれの透けブラ
不健全なのはどっちかな？？
くっ！

しゅるっ
ドキ
ドキ
お…俺も上着だけでも脱ごうかな…
はっ!?
ほわ～っ
まさかホントにすぐ後ろで着替えてるなんて…
収まれ俺の想像力…!!

大丈夫宵月さん…？
さっきから黙ったままだけど…
……ごめんなさい…
この停電…多分私の所為です

二人は心当たりあるかもしれないですけど
私…昔からよくエチいハプニングを引き起こしちゃう体質なんです…
ごめんなさい…先に言っとくべきでしたよね…
せっかくの買い物を台無しにしてすみませんでした…
私なんかが誰かを誘うべきじゃなかったんです…
なーんだそんなことだったのね

最初 あんな自己紹介でびっくりしちゃったけど
今ので逆に少し安心しちゃった
なんで…今のどこが安心なんですか…⁉
実を言うと俺たちもこういうハプニング
結構慣れてるからさ

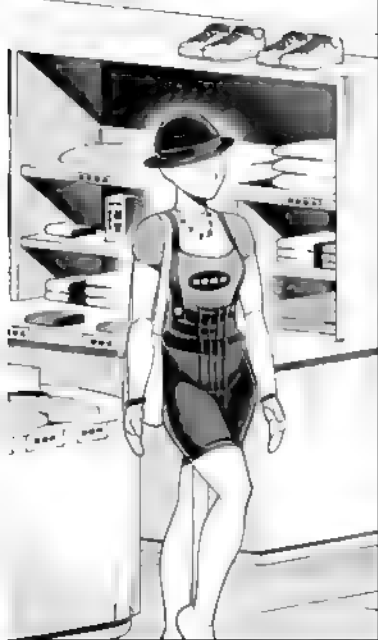
オレとの出会いなんてもっと過激だったからな…
!?
ギクッ
そ…そうだっけ…？
ま…とにかくさ…そんなに自分を責めることはないと思うぞ
そうそう…私達は言うなれば似た者同士…
仲間なんだしさ

サイタマって…変わった人が多いんですね…
パッ
!
動いた…

やっと出られるのね…
ほっ
にしてもこんなベタな展開 久しぶりだったぜ
えーっと皆さん…
早く着替えなくていいんですか…？
ちょっオレの服どこだっ!?
炎城っあっち向いてなさいよっ…！
わっ私閉まるボタン押しときますっ
!?
ズルッ
ドサッ
ふぐっ
!?

ん…
ぷにゅ

ち――ん
良かった…誰も居ない…
ゴウン
ごごごごめんなさいっ
まるで女版炎城みたいなことするのね…
い…一体何やったんだ宵月さん…？
もしかしてHEROの素質あるんじゃねーの？

ちょっと
そこで待ってて
宵月さん
…？
はい…
！
たっ
はいこれ
ガサッ
…でもなんで…
私にですか…？
いやー
…その…
また透けちゃってるからさ…
スケ

なんでこの人の
前でばっかり
こんなことに…！
でも…毎回真摯に
誤魔化してくれる
人なんて今まで――
ばっ
すくっ
今日は色々
あったけど…
ありがとう
ございました…
まだお互いの
ことを知るには
短いですけど…
でも今日は
少なくとも一つ

炎城くんのいい所が知れました
これからも末永くよろしくお願いします
なんか言い方が気にかかるんだよなぁ…
なぁ炎城…実はオレも今下着が濡れてて…
アンタは黙ってなさい…！

カッ
カッ
……女王は？
今さっき眠りました…
あの消耗度から見ると回復までしばらくかかりそうですね
ぐーっ
ぐーっ
保険をかけておいて正解でした
しかし逆に言えば暫くは私が指揮を執れるということ…
これでもう…〝キセイ蟲〟などと人間に揶揄されていた時代は終わり…

言うなれば〝キョセイ蟲〟
まずはエグゼロスとやらを手中に収める所から始めましょうか

Extra Gallery

番外ギャラリー

第31話
GAME!
ねえ烈人くん
宙もやっていい？
お一緒にやるか？
最近——
すっ
天空寺の様子がちょっとおかしい
ちょこんっ

第31話
宙のエネルゲン

ゑゑ
ふあー
トイレトイレ
OFUTON
ぴょこんっ
おはよう
お早いな天空寺

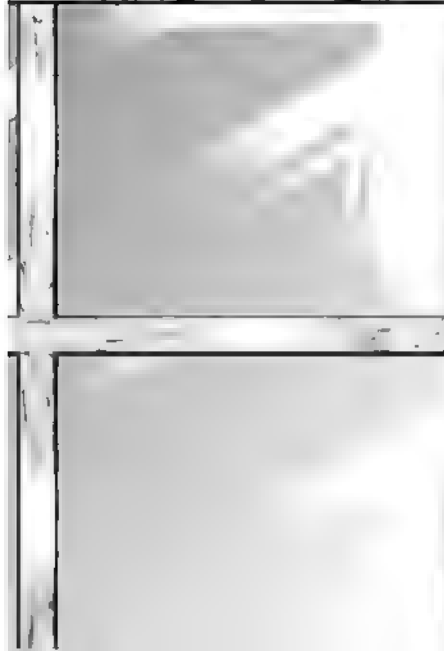
烈人くんの為に頑張って作った

へ？

あ…
ありがとな…

それはそうと天空寺…
お前熱でもあるのか…？

ないよ

ふあぁっ
!
何やってるんだろあの二人…?
ドキ
い…いや宙ちゃんに限ってまさかね…

天空寺の奴…
一体どうしたんだ…？
ここんとこやけに距離感が近いような…
!
ガラッ
ペタ
ペタ
ぺたっ
も…もしかして…

ザバァッ
シャンプー借りるね
やっぱりお前か天空寺!
俺はもう出るからっ…!
あっ
待って
ガシッ
つるっ

どんがあっ
！
今誰お風呂入ってるんだっけ？
さっきソララが入ってくのを見たのだ
大丈夫宙ちゃん？
パタパタ
!!

最近ちょっと変じゃない宙ちゃん…
何か変わったことでもあったの…？
…………
誰にも言わない…？
もっもちろんよ…！
ほら事情があるんなら教えてくれれば協力出来るかもだし…
ドキドキ
……実は…

スランプ？
うん…
どんなジャンルなの？
…れ…恋愛漫画…
↓実際
そっか宙ちゃんって自分でも漫画描いてるんだっけ
ふーん…

そういうのって
やっぱり自分で
体験してみるのが
一番手っ取り早い
んじゃない？
スキンシップ
とったり
お弁当作って
あげたりさ
あんま
わかんないけど
漫画ってそういう
実体験とか大事
そうじゃん？
ふむふむ
そういえば
宙ちゃんって
好きな人とか
いないの？
うん…
そっか―…
それじゃあ
まずは一番身近な
男子で試して
みるとか？

緋色ちゃん〜〜……
な…なるほどそういうことね…
ほっ
ねぇ宙ちゃん
無理して人を好きになることないんじゃない？
大事なのは宙ちゃんの気持ち
それに自分に素直になればきっとスランプだってなくなるわ
ありがとう…

自分に素直に…
だめだー
ピンポーン
お届け物でーす
はいは〜い
るんるんっ♪
ついに来たで…待ってたんやこれを…!
冷蔵
ぱかぁ…
冷蔵
クール

これこそ改良されたHナジードリンクの新作
make you feel so good!
Hネルゲン

前は誰かに取られて飲まれへんかったからな
今度は部屋でゆっくり楽しませてもらうで…
どきどき

せや…せっかく気持ちよくなるんやし
まずは風呂入ってさっぱりしてからやな
たっ
間。
ガラ
はー…一旦リフレッシュしよ…

Hネルゲン…
栄養ドリンクかな？
名前書いてないし
飲んじゃおう
カシュッ
コクッ
コクッ
う〜ん
変な味…
ホカ
ホカ

あーーっ！
何してんねん
宙っ!!
せっかくまた
おっちゃんから
取り寄せたのに…
かぷっ
あーもう
残ってない
やんけー
ごめん
百花ちゃん…
って…
何ともないんか
宙？
何が…？
ケロッ

その夜――
ワオーン
ジャーッ
なんか身体が熱い…
ぽーっ
ガチャッ
アイス持ってこ…
パキッ

ガチャ
もぞもぞ
チュパ
チュパッ
スッ
!?
ペタッ

がばっ
なんで烈人くんが…？
そっか…また間違えて入っちゃったんだ…
だけど今回が初めてかも…
こんなにドキドキするのは――
ドキ
ドキ
ドキ

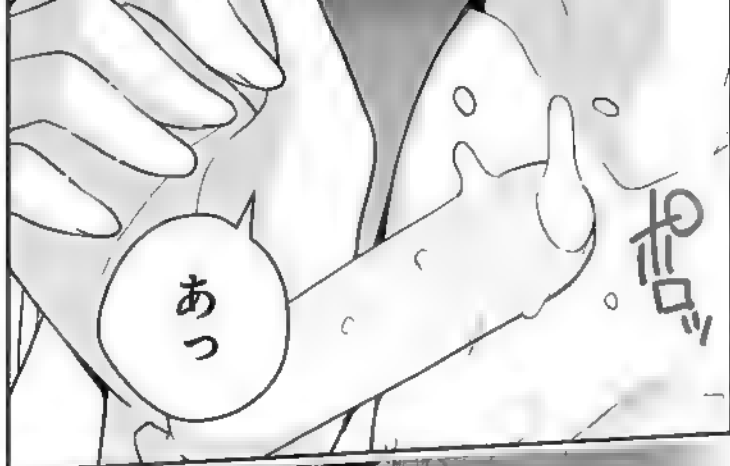
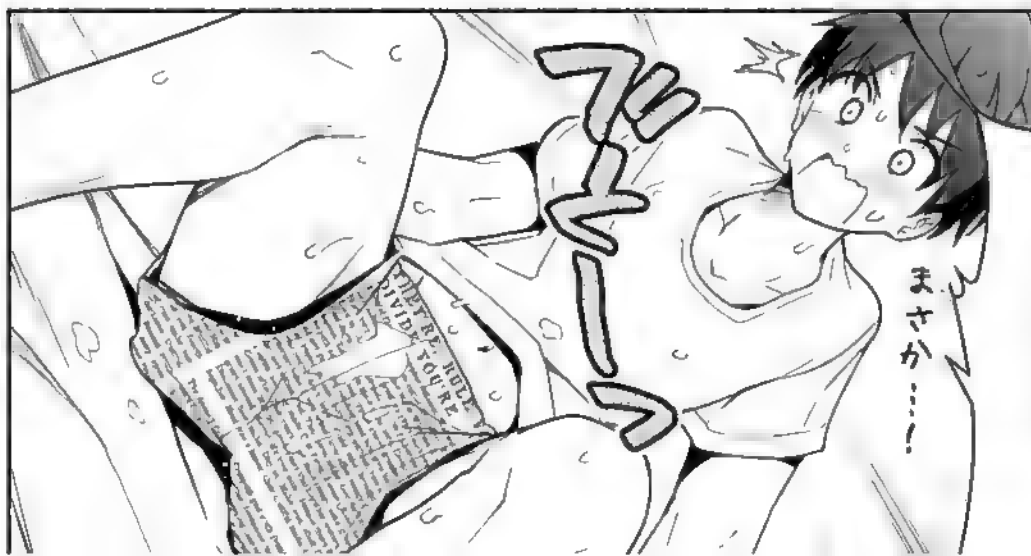
はっ…
はぁっ
なんだかまた身体が熱くなってきちゃった…
んっ…
ちゅぱちゅぱっ♥
♥
美味しい…
とろ〜っ
くりくり

ポロッ
あっ
うっ…
はぁ…
はぁっ…
はっ
あれ…宙なんで烈人くんの部屋に…？
だけどなんだか…
だっ
今なら良い物が描ける気がする——

翌日──

うん

最近 女の子しか描いてなかったから良い気分転換になった

第32話
オナ中の真実

それじゃあ行ってきまーす
ほな気ぃ付けてなー
ふっふっふ…ついに来たで
待ちに待ったこの日が…
雲母は実家に帰省
舞姫はお泊まり会 宙はイベントで遠征
今日がここに来て初めての烈人と二人っきりの夜

今日は思う存分
Hネルギー溜め
させてもらうで…
やけど問題は
どうやって
烈人をその気に
させるかやな…
例えばこうやって
さり気なく風呂場に
*おもちゃ*を置き
忘れたフリするとか…
烈人には
いい刺激になる
んやないか？
ピンポーン
ガサッ

はいはい
ガラッ
ももっち〜〜〜!!
ぐすっ
萌菜!? なんでウチに…?
今日泊めて…?
!

メンバーと喧嘩して家出してきたぁ!?

トーキョー支部でも色々あるんやなぁ
へーここがサイタマ支部ねー
キョロキョロ

せやけどこっちにも準備ってもんがあるんやから急に来られてもなぁ…
せっかく烈人と二人っきりやと思ったのに…

そっかー残念…

それじゃあSNSで家出先募集しようかな
わかったわかった!
それだけは絶対にアカン!!

安心して
サイタマ支部の人には
ももっちの秘密は
バラさないから
それは大丈夫や
丁度今日は殆どの
メンバーが
出払ってるし
烈人にだけ
気をつければ
ええからな

ガチャ
呼んだか
桃園？
ギクッ
れ…烈人!?
そこに
おったんか…
こんにちわー
烈人くんー
君はトーキョー
支部の…！
なんでここに…!?

えっとな 烈人… 前にも言ったかも しれへんけど この若草萌菱は ウチのオナ中で
ちょっと今日は お泊まりに来たんや
いえーい オナ中 でーす
ううっ 変に強調して 言わんで ええっ！
そういえば そんなこと 言ってたっけ
ってことは 桃園は前 トーキョーに 住んでたのか？
いやその 逆で萌菱が 前にこっちに 住んでたんや
うん だからこの間 偶然会った時は びっくりしちゃった
へー

まぁ当時から
そんな予感は
してたけどねぇ
自分も人のこと
言えへんやろ…
そう…
萌菜との出会いは
中学の頃
エグゼロスに
入る前の
ことや…

桃園ー お前
今日こそ
ちゃんと授業
出ろよー
あーい
はぁー…
次の授業
体育か…
サボろ
桃園百花
(15歳)
当時:不良
プーッ
んじゃあ
いつものでも
決めるかな…

んっ
はっ…
はぁ…
……っ
…♡
FRONT
ON/OFF
ピクピク
シャアアァァァ
〜〜〜♡
実はウチは中学生の頃
授業をサボって人の来ない時間に女子トイレに篭もるのが日課やった…
ふうっ…
スッキリ

しかしそんなある日…
日直めんどいなぁ…
日直
正直若草ともあんまり話したことねーし…
全部任せて帰ったろうかな？
桃園さんてさぁ…
桃園さんって意外に可愛い声出すんだね…
！

な…なんのことだか…
知ってるよアタヒ
桃園さんの秘密
ギク
ガ
ーッ
て…てめー…そのこと他人に言ったらただじゃすまねーかんな…!?
……………

大丈夫
別に言わないから
だって
仲間だし
アタヒも声出さないようにするのに必死で…
あの時隣に居たんか!?
これが…
オナ中の萌奈との出会いやった

シャワァァァァァ
ったく前姿の所為で黒歴史思い出してもうたやんか…
入るよーももっち
！

萌菜!?
泊めてくれたお礼に背中流してあげる♪
別にええのに…
ゴシ
ゴシ
今更何も恥ずかしくないじゃん

すっ
だけどこんな物持ってるなんて
やっぱり変わってないみたいだねももっち
ヴヴヴヴヴヴヴヴ
ひやぁぁあっ!?
これは…昼間烈人を驚かせよ思て置きっ放しにしてたやつ…
びくびくっ
ふ…ッ
これじゃ昔と変わらない萌菱のペースや…
……ッ

けどもう萌葵に振り回されてばっかやったあの頃のウチやない…
エグゼロスになってウチは変わったんや…！
ばっ
そういう萌葵もココは変わってないみたいやな
はーっはーっ…
むにっ
ほんならウチが鍛え直したるわ

も…ももっち…!?
ん…っ
やぁ…っ
どうや？ウチかて いつまでも下手に出てる訳やあらへんで？

はーっ はーっ
嬉しいよ ももっち…
昔だったら きっとやり 返してくれな かったよね…
サイタマ支部では素直に なれたんだね…
萌奈…
それに勝負は まだついて ないよぉっ！
むにゅっ
ふおおっ♡!?

ウ…ウチ
やって負けへんで…！
まさか
ももっちと
XEROゲームを
することになる
なんてねぇ…
※15話参照
ぐりぐりぐりっ
〜〜〜〜〜〜っ♡

…はあっ はぁっ…
どうやら引き分けみたいやな…
そ…そだね…
そういえば一体どんなことで喧嘩したんや？
それが…
紫子ちゃんがアタヒのプリン食べちゃって
は？
うん…でも今の勝負でなんだかもうどうでもよくなっちゃった
元からそんなしょぼいことで喧嘩すな！

でも結局今日は泊まってくんか？
うん
せっかくだし久しぶりに話そーよー

はー…せっかく烈人と二人きりや思たのに…
ポソ

あー…あの彼ねー
確かにさっきのももっちのテクもスゴかったけど

前に経験した烈人くんの方がもっとすごかったかなぁ
!?

ぱぁんっ
おいコラ烈人！
なんでトーキョー支部とやったおもろそうな勝負のこと黙っとんねん！
ゴメン烈人くん言っちゃった
ガバッ
うおおいノックくらいしろよおおっ!!
烈人習うより慣れろや
どういう意味!?
長い夜になりそうだね

Extra Gallery

番外ギャラリー

第33話
はあああっ!
キョオオ
ボボボッ
ふぅ…
キセイ蟲の残党退治 完了したよ 叔父さん
ご苦労さま 烈人くん
ジュウウウッ

……また後でかけ直すよ
えっ？烈人くん!?
話は済んだ？
今日こそそのH×EROS渡してもらおう

よ
つき
第33話
曙のかくしごと

はらっ

がっ!!!
恨まないでね…
今の私はこうするしか——

ざわざわ
まずい…人が集まって来た…
……
どうやら今日はここまでみたいだな…
待っ……!

これは
あの子の…
!
ホッ
だ…大丈夫
ですか…?
はっ はい
…!
こういうことは
慣れてるんで
パアアー
はっ
きゃああっ
しまった
〜〜〜!!

ただいま…
ボロ!!
今日は また ずいぶん派手に やりましたね…
H×EROSは 取られなかった？
あぁ…
手がかりは この折鶴だけ ねぇ…
そういえば 例の転校生の 様子はどうなん？
何か進展は あったんか？

早いとこシバいて二度と逆らわないようにお仕置きしてやらんと…！

違ってたらどう釈明するんですか…!?

烈人…自分どっちの味方やねん？
このままずっとウチらのH×EROSが狙われたままでええんか…？
別にそういう訳じゃ…
あーもうわかったわよ
宵月さんとは修学旅行で同じ班になれたことだし
明日もう少し探ってみるから想像だけで話すのはやめにしましょ
ガラッ
！

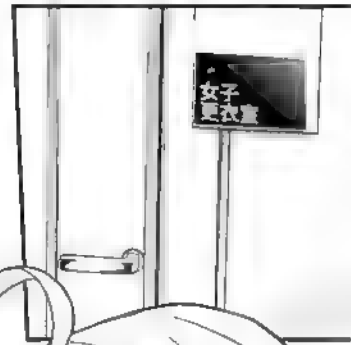
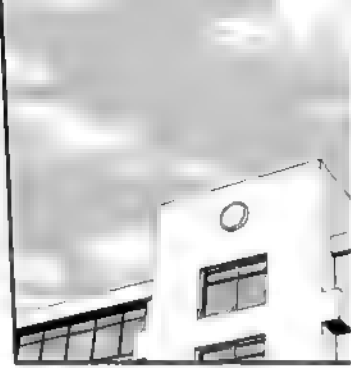
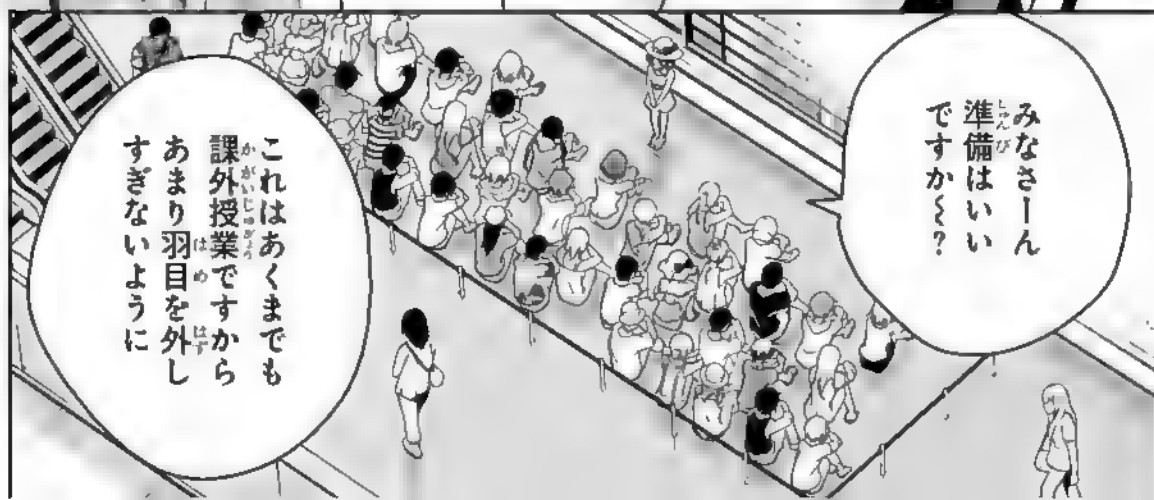
まぁ それなら…言っとくけど

ぐぬ…

これはエグゼロスとしてじゃなく

友達として心配ですることだから

宵月さん
最近 大丈夫？
なんだか遅刻多いけど…
えっ？
じ…実は
私すごい
ねぼすけで…
……
そう…

そうだ！
ねぇ宵月さん
今日 家に寄って
行っていい？
修学旅行の
打ち合わせ
ついでにさ
うっ
うちに…!?
え…えっと
それはちょっと
急すぎるというか
いや…急じゃ
なくても困るん
だけど…
あせあせっ
そうそうっ
今日はバイトが
あったんだった！
それじゃっ！
ぴょーんっ
宵月さん
服服ッ！
キャアアアアッ！
あ…
怪しすぎる
…！

修学旅行当日——
みなさーん準備はいいですか～？
これはあくまでも課外授業ですからあまり羽目を外しすぎないように

それでは修学旅行に
しゅっぱーつ！
きゃぴーん
織田先生…
自分が一番羽目外してるじゃん…！
キィイイイイン

んーっ この日差し… ザ・オキナワって感じねー
ホント暑い…

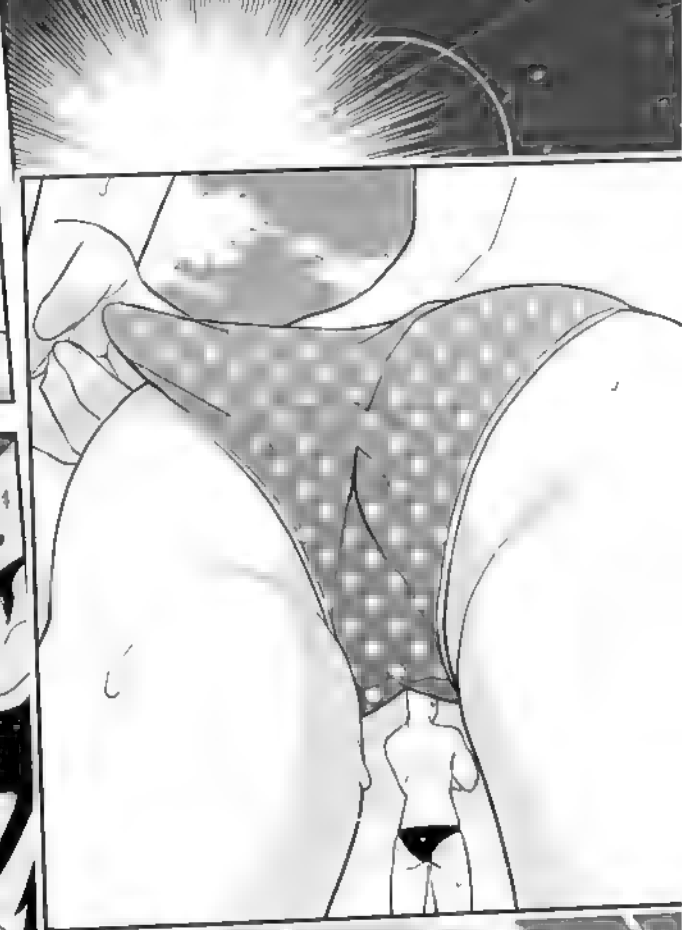
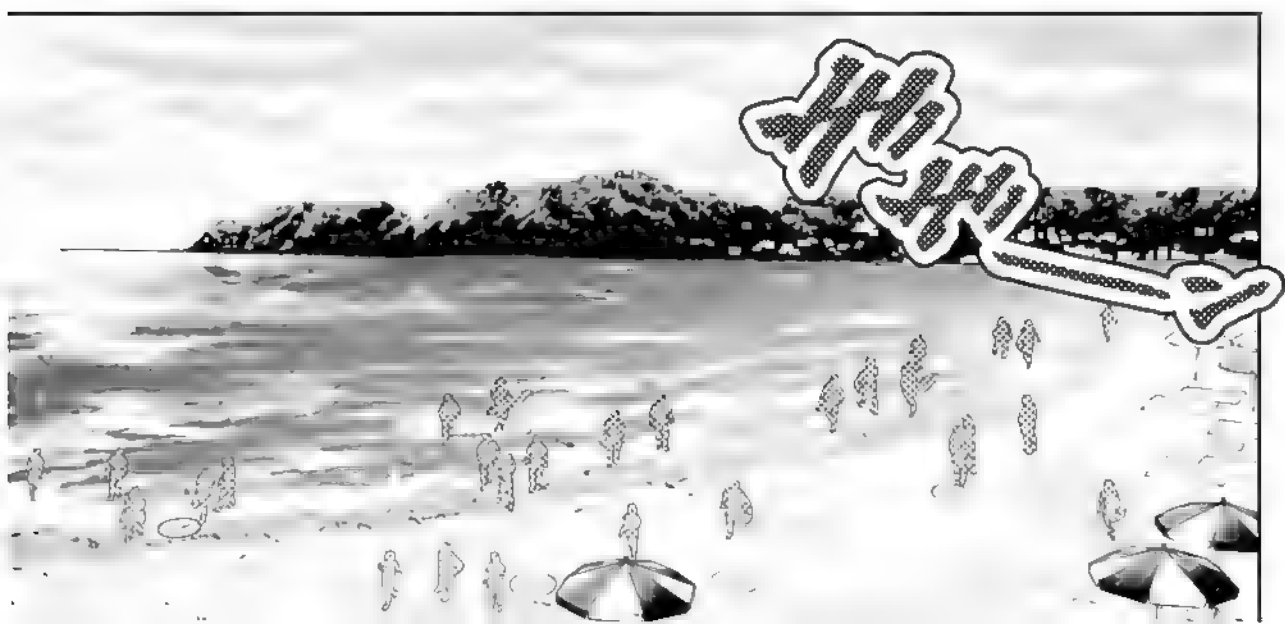
おーい炎城ー
行くぞー
悪い
今行く

ごそごそ
ん？
今何か中で動いたような…
じわっ
!
プハーッ
ぬぬぬぬぬいぐるみが喋って…
全く…レットは余計なものを持って来すぎなのだ…
もしかしてお前…チャチャ!?
なんでこんな所に…
レット達だけじゃ不安だからモモカに言われて お目付役にボクが来たのだ

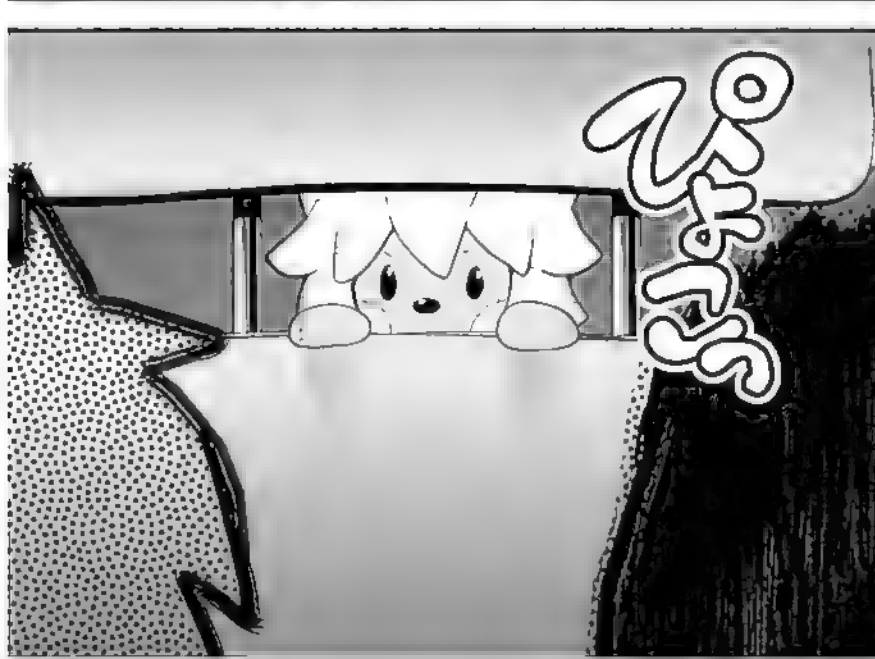
桃園があんな簡単に
折れるなんて
珍しいと思ったけど
そういうことか…

ひそ
いいか？
絶対勝手な
行動するなよ？
ひそ
わかってる
のだ

それでは
ここから先は
ワゴンタクシーを
使って班行動して
もらいますけど
夜にちょっとした
イベントがあるので
門限にはホテルに
戻って来るようにー
はーい

ザザザー

曙ちゃんも早くー！
いや私は…
もしまたアレが発動したら…
遠慮しときます…
ぴとっ
大丈夫よ宵月さん
例の体質のことは気にしなくても
いざとなったら私達が助けてあげるから
ね？

そっか…
もう…一人で悩まないでいいんだ…
ありがと星乃さん…
ぱん
ぱん
それじゃあ少しだけ…
宵月さんその水着って…!?
中学のだけど…
あそこは恥ずかしがらないんだ…
よいつき

ゴトゴト
すーっ
すーっ
ゴソゴソ
ぴょこっ

ふむ…この子がニセのエグゼロスかもしれないニンゲン…
一体どうすれば本性がわかるのだ…？
そうなのだ…！このニンゲンにHネルギーを溜めさせてもし黒いH×EROSが反応すれば犯人に決まりなのだ！
キュピーン
そうと決まれば…
たんっ
作戦実行なのだ!!
がばっ

ん…
確かニンゲンのHネルギーが溜まりやすい所は
凸起か凹みだった気がするのだ
ふにふに
ここ とか…
ビクンッ
くにっ
こういうとこなのだ…？
ふあっ…!?♡

どうしたんだ
宵月…？
ビクッ
なっ
何でもない
…！
誰にも触られて
ないはずなのに
そう感じるなんて
まさか私の
体質も ここまで
きちゃった…!?
ならいい
んだ…
しかも…
こんな
炎城くんの
眼の前で…
ひやぁぁ
あっ!?
なかなか
しぶといのだ…

ふぐぅ〜〜〜!!♡♡♡
はっ♡
はっ♡
ご…ごめん…
おう…

ふらふら
どうかしたの宵月さん？
いや…ちょっとちょっと車に酔っちゃったみたいで…
うちのクラスは揃ったみたいですねー
それではホテルに向かいがてら親交を深めるために…
肝試しでもしましょうか
ざわっ!!

ルールは簡単
10分おきにくじで
決めたペアで
この森を抜け
ゴールのホテルへ
向かうだけ
HOTEL
現在地
仕掛けなどは
一切ないので
安心して下さい

ただし この森には
カップルのみを襲う
嫉妬深い幽霊が出るらしい
ので不純異性交遊は
くれぐれもしないこと
ざわ
ざわ

それじゃあ
くじでペアを
決めてくださーい
……何か嫌な
予感が……

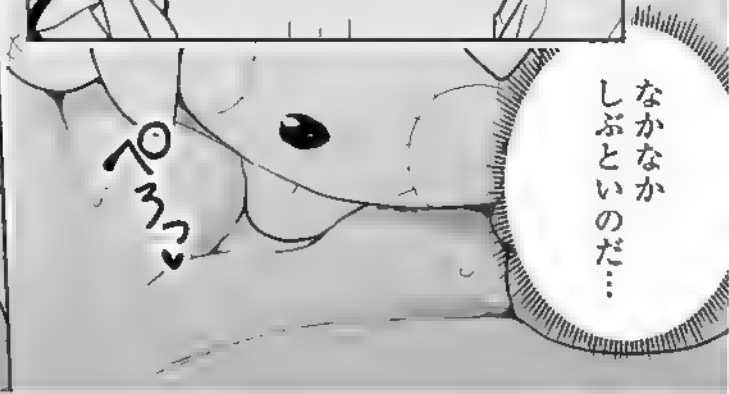
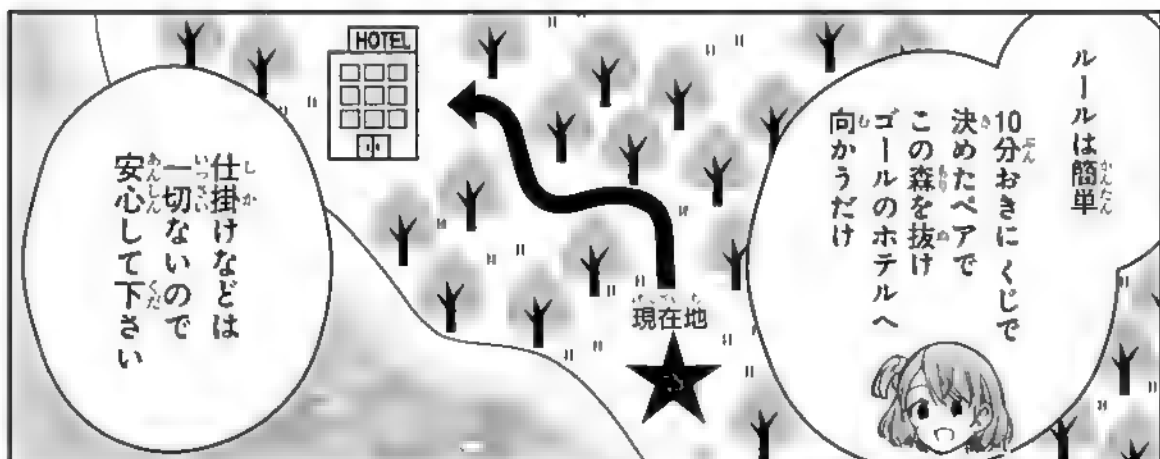
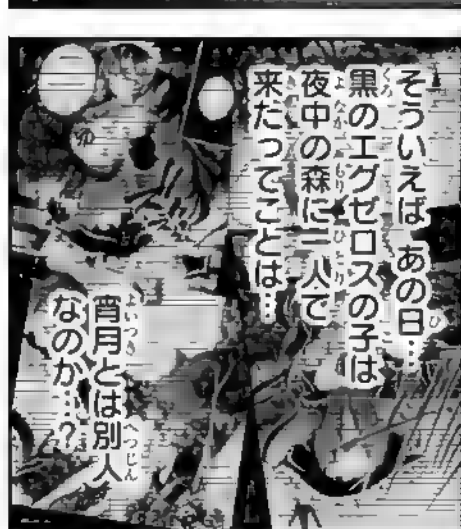
やったねー☆
星乃＆朝名ペア
おいっ
ハズレか…
鳥越＆伊達ペア

やっぱり
──

宵月&炎城ペア

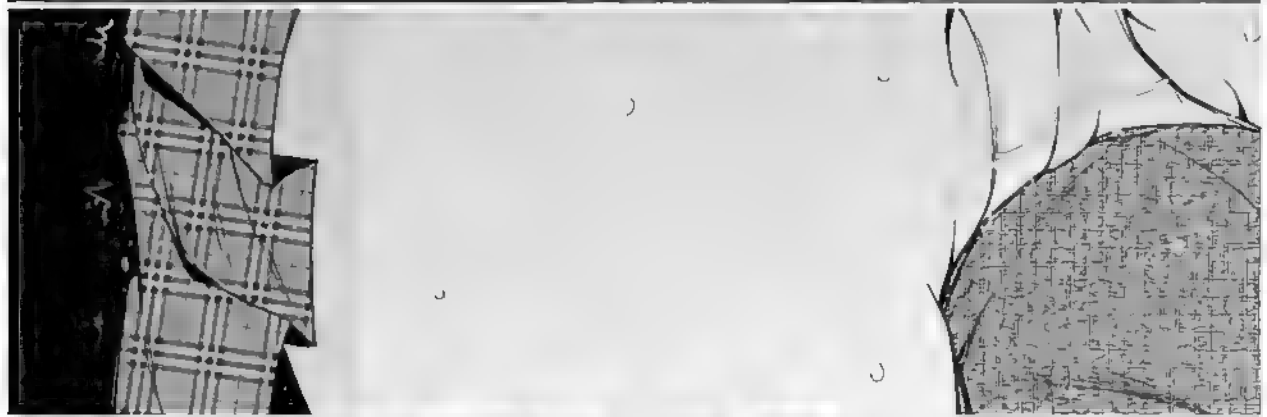
もしかしてビビってる…？

そんなんじゃないっ…！

わかりやすい…

…
!
ねぇ炎城くん…なんか変な声聞こえない…？
そうか…？別に何も聞こえないけど…
次の組の人の会話じゃないのか？

!?
♡
ばっ
い…今のって…
ドキン
きっとアレだよね…？
ドキンッ

あっ…
ああっ…♡
何もなかったことだしコースに戻るか…
そこ…ッ
だめっ…♡
ソッ…ソウダネ！
それにしてもさっきから汗がすごい…
帰りのタクシーから私変かも…
たらっ
!!

ドキ
あ
ご…ごめんっ
……！
ぱっ
いや…
俺の方こそ…

マズいぞ…
何がマズいって
気マズい…！
なんとか
気を紛らわ
さないと…！

そ…そうだ…！
宵月 最近
遅刻とか早退
多かったけど
体調とか大丈夫か？
トラブルに
巻き込まれやすい体質
ってことは知ってる
つもりだけどさ…
困ってることが
あったらなんでも
いいから話して
欲しいなーなんて…

なんでだろ…さっきのドキドキの所為か…
今なら何でも話せる気がする…
実は…

へ?
ウチん家…すごく貧乏で…
ぎゅうっ

修学旅行に行けるようバイトのシフト増やしたから遅刻とか早退が増えちゃって…
最初はいつもみたいに修学旅行は休もうと思ってたけど班に誘って貰うの初めてだったし…

そうだったのか…

こんなこと いうのは 初めてだけど…
今の所は まぁ… 来てよかった …かな…
これは エグゼロスとしてじゃなく 友達として 心配でする ことだから

俺も…もう
隠すのは
よそう…

俺も…！

宵月に言わなきゃ
いけないことが
あるんだ

ごめん…
なんのことだか
さっぱり…
だ…
だよな
…！
…この反応…
シラを切ってる訳
じゃなさそうだ…
ほっ
事情はよく
わからない
けど…
打ち明けて
くれたのは
嬉しい…かな…
宵月…
ほっほら
私だけ話すのも
不公平だった
し…！
まぁ
確かに…

今の声…星乃のだ…!

な…なんか肝試しにしては本気っぽかったよね…?

俺ちょっと見てくる…

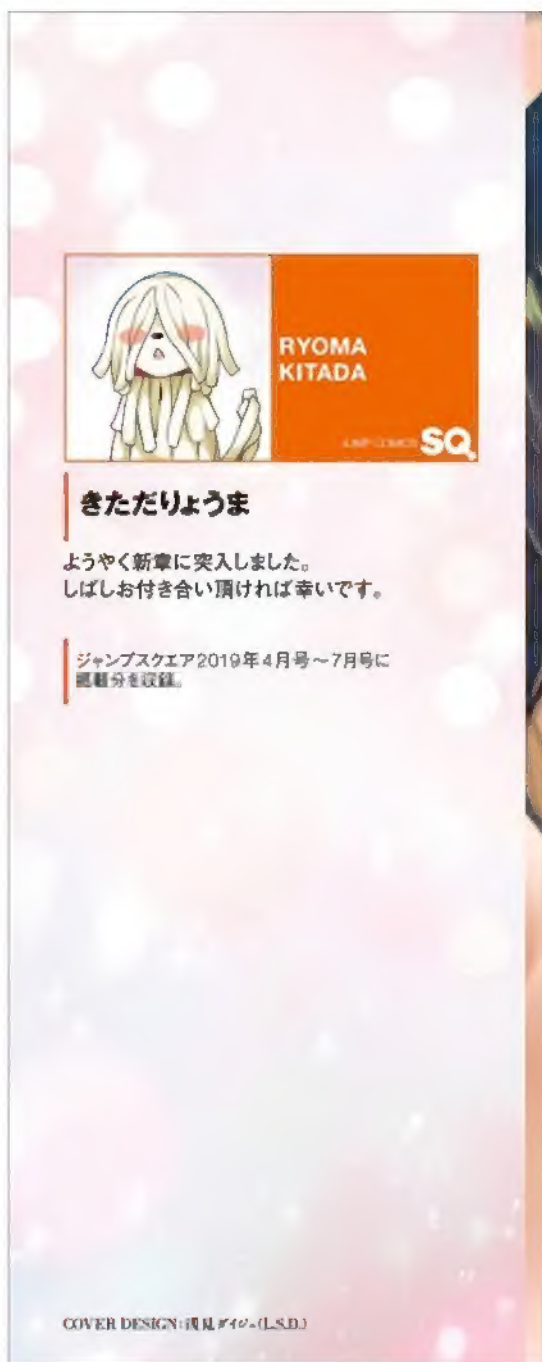
私もっ…!

ってあれ?バッグが…

どうした?

えっと…さっきバッグを落としちゃったみたいで…

！あったぞ
これじゃないか？
これって…
ド級編隊エグゼロス 7 （完）

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。